

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生をはじめ、講読の登録をされた方、法学部に関連ある方等にお送りしています

第 190 号(2022 年 3 月 25 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====

卒業生へのメッセージ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

今年度は、新学期開始早々、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、オンライン授業を強いられました。また、4 学期は順調に対面授業が可能になっていたのですが、最後の最後になってまたオンライン授業に戻ってしまいました。ゼミの最後の授業で、仲間や先生と会えなかった人たちも多いのではないかと思います。授業をはじめ、ゼミや部活動、留学、課外活動など学生生活の大部分が、コロナ禍により大いに制約を受けたことを、とても残念で申し訳なく思います。このような厳しい状況下で、皆さんは、学業を修め、就職活動や公務員試験などを乗り切って自らの進路を見出し、こうして卒業の日を迎えられました。逆境を乗り越えて社会に出て行かれる皆さんの姿が、私には輝かしく映っております。

私からのメッセージとして、皆さんには目の前に必ずチャンスがあるということをお伝えしたいと思います。社会に出て働き始めた人たちから、仕事が向いていないとか面白くないという声を聞くことがあります。どんなにつまらないことでも、自分の前に与えられた仕事には、ひとまず興味を持って向かい合い、それらをこなしていくことが大事かと思えます。その中で、自然と周囲の信頼も得られていくことは間違いありません。かくいう私も、かつて大使館で勤務したことがあります。人が嫌がる「雑用」と呼ばれるような仕事もすべて引き受けて毎日黙々とこなした結果、上司や同僚から信頼を得ることができ、最後には外交会議にも政府代表として参加させてもらえるほどになりました。新しいことに次々にチャレンジするのもいいですが、まずは、自分が今いる場所に埋まっているチャンスを探し出すよう試みてください。必ず道は開けると思えます。

皆さんは、私が学部長になって 2 回目の 3 月卒業生です。私の名前が入った学位記を携えて卒業していく皆さんの姿を今年も拝見することができとても嬉しいです。それと同時に、私の学部長のときに世に送り出した学生ということで、責任も大きいことを感じています。皆さんには、社会に羽ばたき、大いに活躍してもらいたいと強く願っています。

最後になりますが、岡山大学法学部で学んだことを誇りに思ってください。そして、これからもみなさんの後輩たちの成長を、また、岡山大学法学部そのものを温かく見守って行ってください。将来、皆さんが 1 回りも 2 回りも大きくなった姿に出会えることを楽しみにしております。

このたびは、ご卒業、本当におめでとうございました！

2022 年 3 月 25 日

岡山大学法学部長 黒神 直純

こちらもぜひご覧ください。最近のニュースより

第 4 回岡山大学法学部長賞（2021 年度下半期）の表彰式を執り行いました。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/law/faculty/deenaward/index.html#deanaward04>

朴志善（パク・ジソン）助教の連載「一日一題」（山陽新聞）の第 7 回が掲載されました。

https://www.okayama-u.ac.jp/user/law/faculty/media_tv.html